

ANNUAL REPORT 2023



NPO法人モンキーマジック
2023年度活動報告書



Summary

もくじ

ごあいさつ

Life is Climbing.

多くの人の人生にクライミングを取り戻すための1年

遠い昔のようにも感じますが、2023年が明けた頃、まだ日本はコロナ禍の空気に覆われていました。3月にはマスク着用が個人の判断になり、5月には感染症法上の位置づけが5類へと移り、社会は元に戻る自由を許されました。

といっても、既に在宅勤務というライフスタイルが浸透し、私自身もオンライン会議で家から出ずにすむこともしばしば、生活のリズムを変化させるためには重い腰を上げる必要があると感じるようになりました。

停滞した空気が動き出した2023年。私たちは大手を振って「また外に出ましょう」「人と人が直接交流できる先にこそ待っている価値がありますよ」と、モンキーマジックの活動から遠ざかっていた皆さんに再びお声掛けを始めました。

モンキーマジックを取り巻く環境も動き出し、全国の交流型イベントも少しずつ定期開催ができる地域が増え、首都圏で私たちが開催するイベントの参加



KOICHIRO
KOBAYASHI

者も増え、社会が活動を再開したのを実感できるようになっています。

クライミングというスポーツはその人がその人のままで楽しめて、登りきるまでの答えの導き出し方はそれぞれ違っていいのだという、まるで多様な人々が暮らす社会の縮図のようです。安心して誰もが帰って来られる居場所として、今年の経験をこれからの発展に活かし、皆さまと共に障害者クライミング普及活動を通じより成熟した豊かな社会創りに尽力してまいります。

2024年3月
代表理事 小林 幸一郎

活動要旨

クライミングを通じた公益活動発展のために

設立から19期となる2023年も、ご寄付いただいた個人・法人の皆さまや、助成・協賛企業の皆さま、そして多くのボランティアスタッフに支えられ、期末を迎えることができました。

年間を通じて、交流イベントやスクールをはじめとする自主事業を定期開催し、クライミングを通じた運動と交流の機会、多様性理解促進に寄与してまいりました。助成団体の皆さまにおかれましては、活動実践の伴走者としてだけでなく、理論を学ぶ機会もいただき、更なる価値創造に向けた組織力向上にも繋がられたかと思えます。

2023年末に、茨城県つくば市で9年間自主運営していた収益事業の「ボルダリングジム モンキーマジックつくば」を事業譲渡しました。茨城・つくばを中心とした地域の皆さまへ、引き続きボルダリングを楽しんでいただける形で承継することができました。

今後は公益事業「障害者クライミング普及活動」へより一層注力し、障害の有無・老若男女問わず、クライミングを通じた人々の社会参加と多様性理解促進に貢献します。

副代表 水谷 理

ごあいさつ・活動要旨

P1

VOICE

モンキーな人々に話を聞いてみた

P3-5

TOPIC

2023年のトピック

P6-10

主催事業

交流型クライミングイベント/スクール・練習会

P11-12

主催事業

地域交流事業

P13

受託事業

講習会 / 講演など

P14-15

MEDIA

メディア掲載・出演

P16-17

OTHER

サポートグッズ・その他の事業

P18

DONATION / SUPPORT

寄付・協賛のお願い

P19-20

ABOUT

モンキーマジックについて

P21

※「障害者」の表記については、公的機関でも使用している漢字での表記に統一しています。これは「障がい者」や「障害者」などの表記に対して、「害」という表記のみに敏感になり本質を見落とすことがないように、という私どもの意志によるものです。

代表 小林 幸一郎(視覚障害当事者)

Voice

モンキーな人々に話を聞いてみた

INTERVIEW #1

常連さんの小平さん

小平さんは、モンキーマジックのスクールやイベントにご参加くださった視覚障害当事者。最近はパラの大会にも出場。



小平さん
50代・視覚障害当事者

者を対象にしたクライミングスクールを行っていることを知り、体感してみたくて参加したのがきっかけでした。

40代後半に視覚障害が進行し、転職など生活環境が変化しました。50才を迎えるタイミングで、この先障害が進行したとしてもマイペースで続けられるスポーツを探していたら、80代でクライミングをやっている人がいるという記事を目にしました。「視覚障害でクライミングはできるのかな？」と調べると、モンキーマジックが視覚障害

参加して何か変化はありましたか？

参加した当初に抱いたのは正直言うとモヤモヤ感でした。クライミングが視覚障害者も楽しめて、マイペースにできるという答えはすぐに得られましたが、サッカーやハンドボール、バスケなど、ずっと好きで続けていたチームスポーツとは違う楽しみ方を見つけられるのか、クライミングが自分に合っているとどう判断したらいいのか…内心モヤモヤした部分もありました。何度か参加していくうちに、ホールド位置を教えて

くれるサイトガイドや、ロープを操作してくれるビレイヤーなどの存在の大きさが分かるようになり、「クライミングはチームスポーツなんだな」とハッキリ感じる瞬間がありました。マイペースで続けられる点と、長年親しんできたチームスポーツの要素をあわせ持つクライミングを本格的にやってみようと思い、マイシューズを買ったりボルダリングも始めたりとクライミング熱が高まっていきました。

どんなところが良いと思ってくれていますか？

自分と同じ視覚障害や、四肢障害などの人たちのクライミングへの工夫や情熱に刺激を受けたり、いろいろと話せる楽しさです。さまざまな地域でクライミングイベントを開催しているのも良いなと思っています。個人差はあれど障害者の行動範囲は狭くなりがちなので、1～2時間かけて会場へ出かけることも日常生活のハリになります。各地域で出会う人たちとの会話も面白く、そういう機会を得られるのがとても良いです。

また、「驚き」もありました。下でサポートしてくれるサイトガイドやビレイヤーの声が、「もうここからは無理かな」と諦めかけた自分の体を押し上げてくれることです。サッカーなどをしていた頃の仲間の声援もうれしいものでしたが、クライミングでは自分でもビックリするようながんばりを与えてくれる「支えてくれる声」を感じます。一番の驚きで、一番楽しい瞬間かなと思います。ひとがんばり絞り出せて、ゴールできた時はサイコーですね！

INTERVIEW #2

新イベントスタッフのぼるる

2023年に「マンデーマジック横浜」のスタッフに応募してくれたぼるる。きっかけやスタッフをしていて感じたことを聞きました。

同僚からパラスポーツの楽しさを教わったのがきっかけでパラクライミングに興味を持ち、調べていたらモンキーマジックを見つけました。初回に参加者として体験したら新鮮で楽しくて、私も楽しませる側と一緒に盛り上げたいと思いました。

参加して何か変化はありましたか？

自分の中の世界観が変わりました。多様な年代、障害、ライフスタイルの方が同じ壁で登ることは、同年代同業種だけの時とは違う刺激があります。小林さんの「障害は性別や身長が違うのと同じようにその人の特徴なんだよね」との言葉が強く印象に残っています。サイトガイドで学んだ伝え方は、クライミング以外の場で人に伝える時にも使えるなと思いました。



ぼるる
20代

どんなところが良いと思ってくれていますか？

多様な年代、職業、障害、能力の方が一緒に登り、みんなまで応援し合えること、そして上手い下手だけじゃない、新たな価値観に触れられるところです。

(今後に期待することは、)パラクライミングの普及です。スポンサーがつくくらい、競技としても多くの人に知ってもらい、全国に広がることを期待します。

INTERVIEW #3

目かくしコンペに初出場のKくん

どんなところが良いと思ってくれていますか？

普通のジムに行っているだけだと、お父さんとしかできないけど、マンデーマジックに行く则他の人の指示を聞いてできるので面白いと思えた。単純に登るのが楽しいし色々な人に会える。他のイベントにいくと、そんなに輪の中に入れてないなという気がするけど、マンデーマジックだとちゃんと中に入れている気がする。

目かくしコンペに出場した感想を教えてください。

普段と違う雰囲気楽しかった。普段は気軽に登っていたけど、コンペのときはいつもよりも頑張った。普段は諦めてしまう時があるけど、コンペのときは諦めることが少なかった気がする。できるだけ頑張ったけど、順位はそんなに気にしていない。

ほとんど三鷹ジムと高田馬場しか行ったことがないので、他のジムにも行く機会があるといい。



Kくん
小学生・視覚障害当事者

視覚障害当事者のKくんは、2023年にクライミング初体験。お父さんとマンデーマジックに参加して、そこで出会った康佑くん(▶次ページでインタビュー)とペアで目かくしコンペにも出場。

映画をきっかけにイベントに参加してくれた康祐くん

映画公開から間もない頃、中学生ながら抜群の行動力で、一人でマンデーマジックに参加してくれた康祐くん。どんな変化があったか聞いてみました。

イベントに参加したきっかけは何ですか？

映画「ライフ・イズ・クライミング！」を観て、コバさん、モンキーマジックのを知り、このイベントに参加してみたいと思いました。



クライミングの楽しいところはどこですか？

マンデーマジックには今まで6回ほど参加してきましたが、まず初めて参加したときに思ったのが「ボルダリングって楽しい！」ということです。また、その時に見ざるコンペと一緒に出場したKくんと出会いました。マンデーマジック参加者の中で子どもが2人だけだったこともあり、仲良くなり、マンデーマジックに参加するたびに一緒にボルダリングをするようになりました。

このように僕の中で新しい世界が広がったのが、マンデーマジックに参加して一番良かったと感じている点です。

目かくしコンペに出場した感想を教えてください

初めてのボルダリングのコンペで、そして目かくしをしていたということもあり、登る時はとても大変で、終わった後にはどっと疲れが出ました。今回参加してみて、目かくしをして登るとというのが想像以上に難しく、日頃から視覚情報にほぼすべてを頼っているということが分かり、視覚障害者の方への理解が今までよりも更に深まりました。

また、マンデーマジックで何回か練習をしていた「サイトガイド」も本番でやってみて、「ガイドをするには工夫が必要（例えば「HKK」を意識し、クライマーに伝えるようにする）」ということを変更して感じ、クライマー・サイトガイドともにこれからもっと練習を重ねて続けていきたいと思いました。また次回も開催されれば、ぜひ参加したいです！

INTERVIEW

Topic

2023年のトピック

代表 小林幸一郎が現役引退を表明



代表小林が2023年3月4～5日に開催されたパラクライミング日本選手権 視覚障害男子B1クラス、2位の成績をおさめました。この試合を最後に、現役選手引退を表明しました。2006年に世界で初めてロシアで開催された障害者クライミング国際大会に出場し、優勝。以降、パラクライミング普及活動の傍ら、アスリートとして結果を残してきました。

映画「ライフ・イズ・クライミング！」が全国公開！主題歌は念願の共演、MONKEY MAJIKの『Amazing』



コロナ禍にも見舞われ、撮影が困難を極めた代表小林と鈴木直也さん出演のドキュメンタリー映画が5月12日、新宿武蔵野館、YEBISU GARDEN CINEMA、シネスイッチ銀座ほかにて全国公開されました。主題歌は、念願の共演が叶ったMONKEY MAJIK! 小林のクライミングを見て書き下ろしてくださった「Amazing」という曲は、コバとナオヤの旅にもぴったりな本当に爽快な曲です。多くの方に、歌詞をみて何度も聴いていただきたい大切な1曲になりました。▶インタビュー動画はこちら



映画をきっかけに、モンキーマジックのイベントに来てくれる方や、地方を訪れた時に「小林さんですね!」と声をかけてくださる方も増え、私たちが大切にしている想いを多くの方に届けてくれたと感じます。現在は自主上映会を募っていますので、お気軽にお問い合わせください。

福岡舞鶴ライオンズクラブ主催スポーツイベントの指導を担当



多様な子どもたちを対象としたチャリティスポーツイベントにてボルダリング指導を担当しました。当日はライオンズクラブメンバーの皆さん運営のもと、たくさんの地元の社会活動を行う団体も協力して開催されました。体験会には障害のある子どもや兄弟など125名の親子が参加し、ボルダリングやブラインドランニングをはじめ様々なアクティビティにチャレンジしていました。

新事業「ママパパボルダリング」が始まりました！



本事業は、モンキーマジックのスタッフの育児経験から「子育て中の親が子どもを安心して一緒に連れていける運動のできる場所を作りたい」という思いから始まりました。参加者の方には「『ママになっても趣味を諦めない、人生楽しむ』を応援してくれるような素敵な活動」との声もいただいています。

NIKE Japan 社員向けプログラム体験会の講師を担当



NIKE Japan (ナイキ ジャパン) の社員向けプログラム「Nike Japan - 体さえあれば、誰でもアスリート*セッション」にて講師を務めました。アイマスクを使ったクライミングプログラムを実施し、様々なスポーツに縁深い参加者の皆さまがとても楽しみながらクライミングに取り組まれている姿が印象的でした。プログラム後は「学びや気付きの多い素晴らしいセッションだった」と評価いただくことができました。

札幌「えぞモンキー」が記念すべき第100回を開催！



えぞモンキーは、モンキーマジックのメンバーが、「札幌でも地域に根付いた交流クライミングイベントを」と始めた全国初の地域交流型イベント。定期的イベントが第100回を迎える2023年8月に、モンキーマジック一同が札幌にお祝いに駆けつけました。

えぞモンキー運営メンバーの大越さん、常井さん、中山さんにインタビュー！

第100回おめでとうございます！100回を迎えた感想を教えてください

ありがとうございます！とても素晴らしいと思っております。皆さんが自分のペースで楽しめている結果がこの回数なのだと思います！2014年にスタートして、「10年」「100回」という節目を迎えられたことで、さらなる目標に向けて継続できるステップとなりました。

参加者の皆さまが「また来月も来よう！」と思えるようなコミュニティであり、かつ「期間が開いて参加しても以前と変わらない」といった、所属感を得られるからこそ継続できたのではないかと考えています。

Q. 普段のイベントの雰囲気は？

毎月第3日曜日を基本に行っているえぞモンキー定例会は、年齢や経験、障害の有無に関係なく和気あいあいと楽しめる雰囲気です。はじめましての人も、10年間ずっと皆勤賞の人も、お久しぶりの方も、誰彼関係なく、ゆるいつながりの輪に入れる場です。クライミングはもちろんですが、メンバーそれぞれの雑談も楽しみながらイベントを楽しんでいます。

Q. どんな参加者さんが多いですか？

「クライミングが好き」「仲間が好き」「体を動かすのが好き」「なんとなく参加してます」という参加者さんが多いです。中には、一度参加してしばらくあく人、SNSのコミュニティには入っているけど幽霊部員の方も、それぞれのペースやシチュエーションに合わせて参加してくれるので、全体的には肩の力が抜けていて、素敵な大人、お子さんが多いです。

Q. 参加者さんはどんなところでイベントを楽しみ、良いと感じてくれていそうですか？

技術や課題に対して指導するというスタイルではなく、一緒に楽しむ、応援するという建設的な雰囲気や個人を尊重している所が心地よいという声があります。周囲と比べることなく、それぞれの意思やペースで課題や自分と向き合うことができるクライミングの良さに魅力を感じてくれます。あとは、会社や家庭、普段いる場所とは異なった色々な属性の人に出会えるのも、参加者の方がいいと感じてくださっている点だと思います！

Q. 今後の展望などありますか？

一つは、全国の皆さんとの交流の機会をもっと持っていきたいと思っています。2023年に、東京からモンキーマジックの方々、名古屋から尾張でらモンキーの方も札幌に来てくださり、メンバーはとても刺激を受け、楽しい時間を過ごすことができました。

もう一つは、昨夏に北海道の外岩体験会を開催したので、定例会場でNAC以外にも飛び出してさまざまな場所でのチャレンジなども行っていきたいと考えております。



INTERVIEW

Laureus Sport for Good Global Summitに参加しました



6回目の開催にして初の日本の助成団体が参加となり、モンキーマジックの他、大和シルフィード、スポコン、桃山学院教育大学、S.C.P.JAPAN、流通経済大学の6団体がイギリス・ロンドンを訪れました。2023年サミットのテーマは「女の子のためのスポーツコーチングとジェンダー平等、スポーツを通じたポジティブな社会変革」。活動家やアスリートなど多様な方々のパネルディスカッションや、アクティビティに伝えきれないほどの学びある2日間となりました。

ルルレモン 助成金2023-2024年も継続決定

「Here to be」での活動を評価いただき、2023-2024には世界の非営利組織10団体の一つとして「Grow Impact」という社会貢献プログラムにグレードアップして採択いただきました。社会貢献プログラムへの助成に加えて、非営利組織の基盤強化プログラムにも世界各国の多団体と一緒にオンライン参加させていただいています。

第9回『見ざるチャレンジクライミング』を開催



Photo by TKD-Photo

毎年恒例の主催目かくし、クライミングコンペをクライミングジムNOSE町田店にて開催しました。参加者は20組46名(内、視覚障害9名、身体機能障害2名・サイトガイドを含む)、その他にも多くのボランティアの方々に支えていただき、大盛況のイベントとなりました。

〈特別協賛〉THE NORTH FACE(株式会社ゴールドウイン)／CHUMS(株式会社ランドウェル)／株式会社シーワテック

「ライフ・イズ・クライミング！」が海外映画祭にて受賞

ヘールレン(オランダ)とアーヘン(ドイツ)で行われたDutch Mountain Film Festival (オランダ山岳映画祭)のオフィシャル・セレクションに選ばれました。また、米国ロサンゼルスで開催された、Awareness Film Festivalでは、Merit of Awareness(特別賞)を受賞しました。

瀬戸内JAM'23 in 小豆島でボルダリング体験会を開催



小豆島を舞台にしたクライミングとアートの祭典「瀬戸内JAM '23」のプレイベントにて、島内の小学生を対象にブラインドクライミング体験会を開始しました！翌日の「瀬戸内クライミングフィルムフェスティバル」では、「ライフ・イズ・クライミング！」を上映し、代表小林がトークショーに登壇しました。

北杜市・THE NORTH FACE連携事業を開催しました



山梨県北杜市とTHE NORTH FACEの連携事業で、障害者クライミング体験教室「Challenge Climbing in Hokuto 2023」を開催しました。世代問わず20名以上の方々に、チームに分かれてトッロープ・ボルダリングを楽しんでいただきました。

台湾台北市の国際学会で発表し、現地の方と交流



台湾・台北市で開催された国際学会2023 International Conference - Association for Experiential Educationにて、日本での障害者クライミング普及の歩みやその価値について事例発表を行いました。映画「ライフ・イズ・クライミング！」の上映や、現地の方を対象にクライミング体験会も行いました。

主催事業

交流型クライミングイベント/スクール・練習会



動員数 前年度比 約1.4倍

2023年主催事業データ

開催回数
総計 **154**回



昨年のデータ

開催回数：129回
総参加者数：1027名
うち障害者：482名

うち障害者のべ
675名
(視覚/聴覚/身体機能/重複含む)

交流型クライミングイベント

マンデーマジック東京@高田馬場

開催回数	12回	障害の内訳	
参加者	261名	視覚障害	111名
うち障害者	157名	聴覚障害	23名
		身体機能	15名
		その他	8名

マンデーマジック横浜@戸塚

開催回数	12回	障害の内訳	
参加者	100名	視覚障害	46名
うち障害者	62名	聴覚障害	2名
		身体機能	3名
		その他	11名

マンデーマジック東京@葛西

開催回数	12回	障害の内訳	
参加者	95名	視覚障害	49名
うち障害者	73名	聴覚障害	1名
		身体機能	14名
		その他	9名

クライミングスクール

インドアスクール

開催回数	12回	障害の内訳	
参加者	54名	視覚障害	44名
		聴覚障害	0名
		身体機能	5名
		その他	2名

会場：ノーズ町田店（東京都）・ベースキャンプ入間店（埼玉県）・グリーンアロー海浜幕張（千葉県）

チャレンジドガールズクライミングスクール

開催回数	22回	障害の内訳	
参加者	85名	視覚障害	61名
		聴覚障害	0名
		身体機能	3名
		知的・発達	9名
		その他	11名

本企画は「障害のある女性の自立支援を目的としたクライミングプロジェクト」の一環としてローレウス・スポーツ・フォー・グッド財団から「プレー・アカデミー with 大坂なおみ」助成を受け実施。



会場：ノーズ町田店（東京都）・T-wall 錦糸町店（東京都）クライミングバム（神奈川県）

ママパパボルダリング

開催回数	13回	参加者の内訳	
参加者	71名	大人	34名
		小学生	3名
		乳幼児	34名

本事業は武蔵野市の市民活動推進事業の一環として、補助金を受託し、子育て支援を目的に開催しました。

会場：三鷹ジム（東京都）

【全国】交流型クライミングイベント

活動趣旨に賛同して下さった有志により、全国で地域交流イベントが開催・運営されています。

開催回数 **96**回 / **12**地域 (テスト開催は除く)

主催地域数 **15**地域 (4地域は準備中)

参加者数 **902**名 うち障害者のべ **299**名

鳥モンキー(鳥取)

尾張でらモンキー(愛知)

えぞモンキー(北海道)

出雲スサノオモンキー(島根)

はんなりモンキー(京都)

伊達モンキー(宮城)

桃モンキー(岡山)

なにわモンキー(大阪)

もみじモンキー(広島)

日向モンキー(宮崎)

つるぎモンキー(富山)

甲斐モンキー(山梨)

北九モンキー(福岡)

阿波ZARU(徳島)

遠州浜ZARU(静岡)

よかモンキー(福岡)

土佐モンキー(高知)

くまモンキー(熊本)

OKIモンキー(沖縄)



あなたのお住まいの近くで
開催しているイベントを
チェック！

全国交流型クライミングイベントの3つのポイント

- 地域の人々が主催して定期的開催する地域に根ざしたクライミングイベント
- 障害の有無や年齢・性別・国籍などの違いに関係なく、全員が同じいち参加者
- 新しい人と人がつながり、多様性を認め合い、クライミングを楽しむ仲間になれる場所

受託事業

障害者クライミング体験会/講演など

クライミング指導 (HKK講習含む)

- ・ 発達障害など心身の障害のある子ども・青年にアクティビティを提供する「プチ冒険倶楽部クライミング部」の指導を担当しました。(2022年度1月/2月/3月、2023年度5月/6月/7月/9月/10月/11月)
- ・ Find Funスポーツ教室にてボルダリングの講師を担当(2月)
- ・ HERS Sports Festivalにてボルダリングの講師を担当(流通経済大学)
- ・ 筑波技術大学の3日間の体育集中授業「フリークライミング」指導を担当(2月/9月)
- ・ 視覚障害の小学生とその兄弟姉妹を対象に親子で活動する「いちごの会」の親子の会のクライミング指導を担当
- ・ NPO法人ちば森の楽校(フリースクール)の小中学生対象のクライミング体験指導を担当
- ・ 福岡舞鶴ライオンズクラブ主催チャリティスポーツイベントでボルダリング指導を担当
- ・ 茨城県つくば市にて、NPO法人ネクストワン主催スポーツ探検隊・スポーツクライミングの指導を担当(6月/)。8月には小川山にて2泊3日のクライミングキャンプも指導。
- ・ 神奈川県立スポーツセンターにて、神奈川県障がい者スポーツ協会主催の「パラスポーツ教室 体験会」のボルダリング指導を担当(5月/11月、視覚障害や知的・発達障害の子どもと保護者対象)
- ・ 仙台の日本盲導犬協会主催のイベント「ワン!ぱくっ子サマースクール」にてクライミング指導
- ・ 山梨県北杜市とTHE NORTH FACEの連携事業にて、モンキーマジック指導による障害者クライミング体験教室「Challenge Climbing in HOKUTO 2023」を開催
- ・ びわこ成蹊スポーツ大学の大学3年生の対象科目「冒険教育プログラム」にて、代表小林が特別講師としてブラインドクライミング体験を指導
- ・ 筑波技術大学の「第16回三大学連携 障がい者のためのスポーツイベント」にてボルダリング指導を担当
- ・ 「瀬戸内JAM'23 in小豆島」プレイベントにて、ブラインドクライミング体験会の指導を担当(小学生8名と保護者1名)

講演

- ・ 代表小林が千葉日本大学第一中学校（代表小林卒業校の兄弟校）
- ・ 代表小林が亜細亜大学のボランティア論授業にてゲスト講師を担当
- ・ 代表小林が東京都新宿区立落合第二小学校にて道徳特別授業の講師を担当
- ・ 台東区（東京都）の寺院・明王院にて代表小林の講演会を開催
- ・ ノエビアグリーン財団の助成事業採択者向けの講座「認知度を上げることが支援者を増やすPR講座と成功事例」にて、代表小林・副代表水谷が登壇
- ・ 第98回令和5年全日本盲学校教育研究大会・北海道大会にて全国の盲学校教職員を対象に代表小林が「ライフ・イズ・クライミング！～見えない壁だって、越えられる～」を演題に講演（会場に130名以上、オンラインでは全国から1500名以上参加）
- ・ 九州盲導犬協会の40周年記念式典にて講演
- ・ 代表小林が京都ライトハウス「鳥居寮」入居者対象の「教養」授業にて講演
- ・ 代表小林が京都府山城教育局主催「山城地方視覚障害者社会教育指導者研修会」で講師を担当
- ・ 東京都武蔵野市立第四小学校にて特別授業（4年生2クラス50名）
- ・ 代表小林・副代表水谷が、立教大学キャリア形成論にゲスト講師として登壇

その他

- ・ 第3回ノーバリアゲームズ～ #みんなちがってみんないい～」に代表小林が出演
- ・ NIKE Japan 社員向けプログラム体験会の講師を担当（約20名対象の社員研修）
- ・ 北海道教育大学の地域連携イベント「あそびプロジェクト！ Vol.15」内で、映画「ライフ・イズ・クライミング！」全国初自主上映会を開催。代表小林はトークセッションにも参加
- ・ 山梨県北杜市主催「第2回未来創造オープンカレッジ」内で、映画「ライフ・イズ・クライミング！」の上映会を開催（山梨では初の上映）
- ・ 東洋大学で開催された国際カンファレンス「Peace as a Global Language International Conference 2023」にて、NPOモンキーマジックの社会的貢献について木本多美子が発表
- ・ 「瀬戸内JAM'23 in小豆島」内「瀬戸内クライミングフィルムフェスティバル」にて、映画「ライフ・イズ・クライミング！」を上映、代表小林はトークショーに登壇

Media

メディア掲載・出演

新聞掲載

産経新聞に代表小林の特集記事が掲載されました

夕刊（紙面は大阪のみ）とオンライン版『パラクライミングの「レジェンド」現役引退 世界選手権V4の小林幸一郎さん』と題した代表小林のインタビュー画掲載。

Web掲載

経団連1%クラブニュースに掲載

経団連企業行動・SDGs委員会の下部組織、経団連1%（ワンパーセント）クラブのクラブニュースに、「ライフ・イズ・クライミング！」とマンデーマジックについて掲載

Web掲載

UD CAST特集ページに代表小林のインタビュー記事掲載

映画「ライフ・イズ・クライミング！」についての視覚障害者向け音声ガイドや聴覚障害者向け日本語字幕について、代表小林と音声ガイドのライター松田高加子さんが対談

TV放送

TBS「News23」にモンキーマジックが特集されました

『【全盲のクライマー】日々失われる視力...それでも岩山に挑み続けた理由「クライミングが人生に彩りをくれた」小林幸一郎さんに見る“前向きに生きる”ヒント』が放映

誌面掲載

雑誌「PEAKS」に特集記事が掲載

アウトドア雑誌「PEAKS」2023年11月号（2023年9月14日発売）、「なぜなら、そこに山があるから」のインタビュー連載にて代表小林が特集されました

誌面掲載

月刊紙「ラジオ深夜便」に掲載

NHKラジオの放送とリスナーをつなぐ月刊誌「ラジオ深夜便」10月号(9/18発売)にて、「クライミングは一生の友達」と題して、特集記事を掲載いただきました

Web掲載

代表小林が出演した第3回ノーバリアゲームズ～ #みんなちがってみんないい～」がYouTubeチャンネルでライブ配信

MCの松岡修造さん、フリーキャスターの平井理央さんや、元プロ車いすテニスプレーヤー／パラリンピック金メダリストの国枝慎吾さんらとユニバーサルなゲームを行い、その模様がWOWOWの公式YouTubeチャンネルでライブ配信され、ダイジェスト動画が公開されました。

Other

サポートグッズ・その他の事業

■ その他

ANA機内上映にて「ライフ・イズ・クライミング！」放映

全日本空輸株式会社（ANA）機内の国内線および国際線の個人シートモニターにて、映画「ライフ・イズ・クライミング！」が放映されました。

■ TV放送

NHK ハートネットTV「フクチッチ」にてクライミング指導

小学高学年の子供たちを対象に、視覚障害理解促進を図る特集番組が前後編が放送され、後編の視覚障害のある小学生と晴眼の小学生クライミング指導を担当した。

■ 誌面掲載

日本NPOセンター機関誌『NPOのひろば』インタビュー掲載

「NPOのひろば」96号に人物探訪「その先の一步へ、誰かが一緒ならきっと進める」と題して、見開き2ページわたり詳しく丁寧に取材していただきました。

■ Web掲載

日本NPOセンター英文サイトにインタビュー記事掲載

「NPOのひろば」96号に掲載された代表小林のインタビュー記事が英訳され、同会英文サイトに掲載されました。

■ その他

京都・静岡・兵庫にて自主上映会開催

京都では「はんなりモンキー」開催地のRock on the Beachにて、浜松では春からの交流型クライミングイベントのキックオフイベントとして、ビジョンパークに縁がある神戸アイセンターにて、映画「ライフ・イズ・クライミング！」の自主上映会が開催されました。

サポートグッズ

THE NORTH FACE サポートTシャツ 2023

18作目は「世界中の人と登ろう！」がテーマのグレード表デザイン。



2023 CHUMS バッグ

コラボレーション11期目となる2023年モデルは、定番のブラックのカラー展開に加え、カラフルなクレイジーパターンが仲間入りし、好評でした。グッズもキーホルダーやシューズケースが追加されました。



ROKX(ロックス)クライミングパンツ

コラボ3年目は初のショートパンツが登場。全面にお猿のプリントがあるポップな仕上がりで、夏場も動きやすく快適にクライミングを楽しむことができます。



その他の事業(一部)

イベント用仮設ウォールレンタル

スポーツイベントや催事企画、フェス会場、研修会などに出席実績がある仮設壁レンタル事業。併せて障害者理解をテーマにしたワークショップや、専門ファシリテーターによる研修プログラムとしての提供も可能です。

モンキーマジックつくば

オープンから9年を迎えた「モンキーマジックつくば」は、2023年12月をもって事業譲渡いたしました。ジムとしては存続しますので、これからも地域に根差し、運営される予定です。

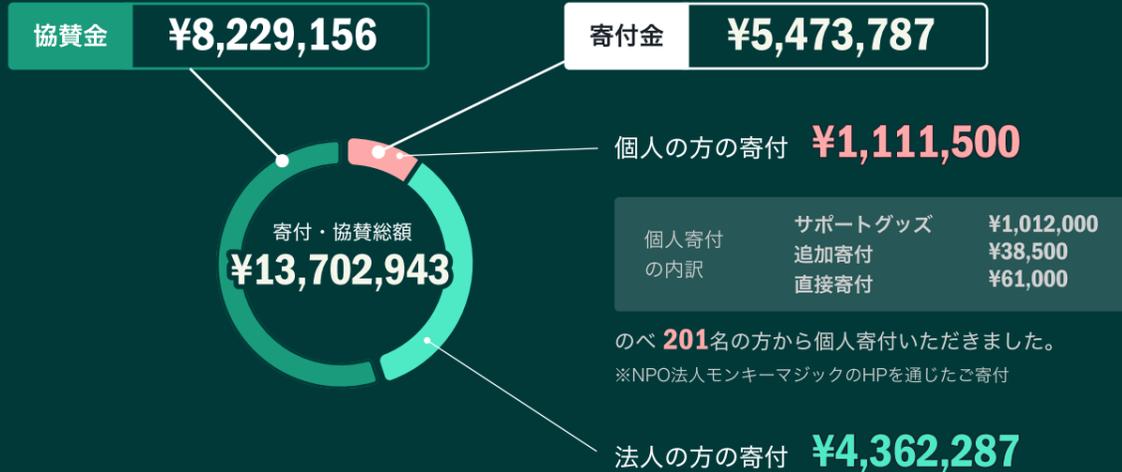
寄付型自動販売機

モンキーマジックの活動に賛同いただいたクライミング・ボルダリングジムはじめ各施設に設置いただいている寄付型自動販売機。売り上げの一部が、モンキーマジックへの寄付となり、障害者クライミング普及の支援に使われます。

Donation/Support

寄付・協賛のお願い

寄付・協賛の内訳



今年度も多大なるご支援をいただき、ありがとうございました。

月額寄付（マンスリーサポーター）の募集を開始

障害者クライミング普及活動を通して、社会の多様性理解促進のため交流イベントや講演活動などを行なってきました。

法人設立20年目を目前に、更なる活動の発展・推進のため、モンキーマジックの活動を応援していただけるマンスリーサポーターを募集を開始しました。

ご寄付で応援していただくだけでなく、モンキーマジックの仲間として、共に新たな楽しいことを考えていただける、そんな皆さまのご参加をお待ちしております。

月額寄付会員(マンスリーサポーター)は
こちらから



支援企業様

寄付企業/団体(一部)

ルルレモンアスレティカ JP 合同会社、朝日ライフアセットマネジメント株式会社、福岡舞鶴ライオンズクラブ、富士フイルムビジネスイノベーション株式会社 端数倶楽部、アズビル株式会社、azbil みつばち倶楽部、株式会社ヤフー、gooddo 株式会社、アサヒ飲料寄付型自動販売機設置各オーナー

協賛企業

THE NORTH FACE(株式会社ゴールドウイン)、CHUMS(株式会社ランドウェル)、株式会社シーワテック、ROKX(株式会社 SN Japan)、株式会社箕面ビール、株式会社敬洋、株式会社カンセキ、株式会社リプライ、アサヒ飲料株式会社

賛助企業

株式会社シーワテック

助成団体

ルルレモンアスレティカ JP 合同会社、ローレウス・スポーツ・フォー・グッド財団



About

モンキーマジックについて

ビジョン

障害者クライミング普及活動を通じて、多様性を認め合えるユニバーサルな社会を実現し、より成熟した豊かな社会を創ります。

ミッション

モンキーマジックとは、「見えない壁だって、越えられる。」をコンセプトに、フリークライミングを通じて、視覚障害者をはじめとする人々の可能性を大きく広げることを目的とし、活動しているNPO法人です。

2024年度の主要事業

障害者クライミング普及活動拡大に挑戦

設立20周年を目前に、初心である障害者クライミング普及活動に改めて取り組みます。アウトドアスクールの実施や、小学生を対象とした「モンキッズ」を始動します。「モンキッズ」は障害児と健常児と一緒にクライミングを楽しむイベントで、これまで子どもから大人までを対象としてきた交流型クライミングイベントの新たな形と考えています。また、取り組みをアジア地域に広げていきます。昨年訪れた台湾以外にもシンガポールなどで、体験イベントを行いノウハウを提供し、現地に根付かせていきます。

調査研究事業に取り組みます

発達障害者のクライミング機会充実を目指し、専門家の方からのアドバイス、当事者家族からも生の声をいただき、環境の整備ならびに多様性理解やインクルーシブ社会にクライミングが果たせる役割などを取りまとめ、発信していきます。また、新たに大学等の教育機関の連携で、交流型クライミングイベントの価値について調査研究も開始します。

特定非営利活動法人モンキーマジック

2005年8月設立

事務所 | 〒167-0042 東京都杉並区西荻北4-4-2 セレスト西荻窪208

本部 | 〒180-0002 東京都武蔵野市吉祥寺東町4-11-6

✉ info@monkeymagic.or.jp

🏠 <https://www.monkeymagic.or.jp/>

モンキーマジックでは多様性理解促進を目的とした講演、クライミング体験プログラムの提供、「ライフ・イズ・クライミング！」上映、企業研修などを行なっています。お気軽にご相談ください。

